

2022年（令和4年）10月10日

近畿本部 衛生工学部会 第45回例会の御案内

近畿本部 衛生工学部会 部会長 助宮賢治

近畿本部 衛生工学部会 令和4年度第45回例会を下記要領で行います。ご参加頂きますよう御案内致します。

—— 記 ——

1. 日時：2022年（令和4年）11月12日（土） 10:00～11:00
2. 場所：ZOOMを使ったWeb会議方式
参加希望者には、開始日前日までにWeb会議のURLリンク情報を送付します
3. 参加費：無料
4. 講演：10:00～11:00

題目：増える高まる、建築設備の要求性能と課題解決

講師：井守紀昭氏（株大林組設計本部大阪設備設計部）

概要：省エネルギー、省CO2、低炭素、脱炭素、カーボンニュートラルと用語のトレンドは移り変わり、求められる性能は高まる。地球環境やエネルギー問題にとどまらず、BCP（テロや災害、システム障害など危機的状況下に置かれた場合でも、重要な業務が継続できる方策を用意し、生き延びられるようにしておくための計画）、ウェルネス（建物を利用する人々のウェルネス/ウェルビーイング『健康、快適、安全・安心など』に焦点をあてた空間づくり）、感染症対策、働き方改革など、建築設備の工学の枠から外に出て提案を探ることも増えた。たとえばBCPは災害を機にその要求は増えて高くなり、最近ではZEB（快適な室内環境を実現しながら、建物で消費するエネルギーをゼロにすることを目指した建物）や感染症対策の計画が多くなった。設計事例を通してこれら要求性能と課題解決の提案事例を紹介する。

略歴：1992年信州大学工学部大学院修士課程修了、同年株式会社大林組入社、1995年同社設備設計部に配属、設備設計業務に携わる。主な設計実績は、安田女子大学A棟・8号館（1999年空気調和・衛生工学会技術振興賞）、NHK神戸放送会館（2006年空気調和・衛生工学会技術振興賞）、グランフロント大阪南館・うめきた広場（2015年空気調和・衛生工学会学会賞技術賞）、なんばスカイオ（2015年サステナブル建築物等先導事業）、クボタ日本新研究開発拠点新設（2022年竣工『ZEB』）など。2021年より大阪市立大学（現大阪公立大学）非常勤講師を務める。

資格：一級建築士、設備設計一級建築士、建築設備士、CPE、一級管工事施工管理技士、エネルギー管理士、CASBEE 評価員

5. 参加申込：

参加申込は下記までお願いします。

メール送付先：kirki.eisei.pe@gmail.com（近畿本部 衛生工学部会アドレス）

件名に 【11月例会】 を付けてください
氏名、技術部門、およびメールアドレスを記載して下さい。
参加希望者多数の場合には募集を打ち切る場合があります。

6. 申込締切： 2022年11月10日（木）とします。

—以上—